



漫 録



崇られた土木豫算

—— 農村は何處へ行く ——

路 政 僧

○ 此處は内務省土木局長室、新廳舎とは言ひながら薄暗い部屋、ロイド眼鏡の局長唐澤さんが、各課長や事務官を集

めての會議、兎も角、此前の議會で、時局匡救土木事業は三年間執行するのぢやと、大藏大臣は明瞭に答辨されたし首相も亦之に讃を入れたのだから、いかに軍部が鉅額な豫算を要求するにしても、前言を忘れて時局匡救事業を打切る譯には行くまい、何とか算段して今年位の豫算を編制せなけりや地方農村は治まるまい、夫れに以前からやつた土

木事業の跡始末を附けなけりや是迄やつて來た事業の効果を潰滅することになる、矢張り本年度豫算を標準にして豫算を編制して見やうぢや無いか。

本年度豫算を標準にするのも餘り味が無さ過ぎる矢張り土木事業の見地から豫算を編制するのが事務的だ、と誰かが意見を出す暫時沈黙。窓外には電車の騒音が聞へる。

併し餘り大きな豫算を要求して、復活要求に奔走するのも餘り藝ではない、去年豫算の編制時期に、あちら此處と飛び廻つて頭をさげたことやら、三土鐵相の横槍に反抗し

て新規河川の豫算を成立せしめた其の苦勞などを想ふと、
モ、役人生活は嫌に爲つた、と。唐澤局長が言つたとやら
言はぬとやら傳へられてゐる。

○

夫れは兎も角、各課は局長の意を酌んで豫算を编制した。
其の額は一億九百五十萬圓、本年度に一億圓を承認して呉
れたのだから事業を精算する意味を加へると恰度此位の額
が適當であらう、と局議を定めて省議に諮つたものだ、固
苦しい潮次官でも勿論のこと、誰も九年度は本年度に引續
き地方に仕事を爲さしむるものと觀念してゐるから異論の
あらう筈はない、土木局の要求、夫れは尤もぢやと、要求
通りにと決定した、之に依ると、國事業三千三百四十七萬
圓、道路は二千萬圓、治水は千百五萬圓、港灣二百四十二
萬圓、府縣事業としては三千七百七萬圓、道路は千六百四
十一萬圓、治水は千六百十八萬圓、港灣四百四十八萬圓、
町村事業に對する補助三千八百九十五萬圓、其の内道路は
三千四百十二萬圓、治水は三百六十三萬圓、港灣百二十萬

圓であつたそうだ。

此計畫で事業を執行すりや、農村の疲弊を救濟すること
も出来る、事業打切りの跡始末も出来る、そうなれば時局
匡救事業の爲に新たに採用した役人、本省の者三千九十六
人、地方廳の者六千二百五十一人、市町村の者二千七百十
人、都合一萬二千人が失業せず飯が喰へる、と。九年度
の天下泰平を夢見て大藏省の査定如何と待つてゐた。

○

各省の新規要求二十二億圓に達した、其の内でも軍部の
要求は猛烈だ、財布の神、大藏省も國防第一主義で査定す
るらしい。と、色々新聞に報じ出した、イヤ藏相は、軍部
の宣傳する戰爭來の所論を反駁して戰爭なんか容易に出來
るものではない、日清日露の戰爭を決定するときの空氣を
再吟味するが良い。と、言つたとやら、だから藏相は産業
第一主義で査定すると、色々に囁し立て、悲喜交々の裡
に日を送ること二た月。

○

此處は土木會議。二十年もかゝつて道路を改良するなんて、そんな悠長なことがあるものか、自動車が発達して交通領域が擴大したから國道網を追加して改良するが良い、府縣道は總て鋪裝することに改訂しなさい、京濱間には一本の國道を造りなさい、十五年もかゝつて河川を改良する計畫だから治水計畫は常に机上の空論に終るのだ、中小河川の改良をモツト範圍を擴大して治水の實を擧げなさい。と、不景氣Ⅱ財政難の風は何處を吹いてゐるかと言ふ調子。遂に七億七千萬圓の道路計畫案と、三億三千万圓の治水計畫案とを可決してしまつた。

誰やらが土木費は要求額の三割に査定されたと注進する頃から、景氣のよい會議にも、尠しは不安の風か漂ひ始めた、地方産業の開發に資する事業を犠牲にして軍事費を殖やすのはケンからぬ、國民が疲弊して塗炭の苦境にあるとき國防でもあるまいと、イキリ立つ議員もある、土木も國防も總て起債でやるが良い、地方に起債を許可して政府が起債しない理屈があるものか、と色々に論じたてるが、話

し相手になる大藏省の委員は顔を見せない、此處へ引張つてきて論戦しやうぢや無いかと、大藏省へ交渉するが、いまは豫算査定の中ぢや、金を呉れる相談なら都合して出席もするが、金を使ふ相談なら勝手に相談して置いて呉れと、言つた調子、己むなく道路も治水も起債財源に依つて此決議通り執行せよ、と言ふ決議をして散會。

○ 今日か明日かと待つた大藏省の査定が來た、さながら處女がラブレターを見るやうにして蓋を明けて見ると、驚く勿れ、一億九百萬圓の要求は四千百萬圓。さては軍事費に六千萬圓を喰はれたか、矢張り大藏省の役人も丸腰だから、サーベルが恐ろしかつたのだ、と色々に残念がる。農林省の豫算も矢張り同じ運命ぢやと知らせて來る。後藤農相が、あれ程力瘤を入れた豫算が同じ運命なら豫算閣議は此儘では納まるまい、何れ大藏省には隠し財源があるのだ、復活要求するがよいと一決して要求したのが四千七百萬圓。大藏省査定額四千百萬圓と復活要求額四千七百萬圓とを

合しても尙本年度の額からは九百萬圓の開きがある、大藏省は三千萬圓の隠し金を持つてゐると誰やらが内偵して來る、夫れなら農林内務に相當額の割當があるのは當然ぢや、と高を括つて待つ程に、承認四五十萬圓と云ふ査定通知が來た、良く調べて見ると夫れは始めから當然に承認すべき筈のものを誤算であつた手直しに過ぎない、豫算問題を中心として政界不安と言ふ險惡な空氣が漂ふ、大藏事務當局は藏相の鼻息の荒いのに力を得て益強腰で一步も退かないと云ふ知らせが來る、此調子ではいつまで鸚鵡返しをやつてゐても駄目ぢやと、第三次復活は九百六十萬圓と言ふ程度に落して、之が内務の最後案ぢや、之れ以上は政治的解決に俟つの外ないと、大藏省に送り附けた。

○
海軍の要求を要れなければ國防の責任を負ふことは出來ない、農林の要求を容れないと百姓一揆が起ると、各々夫れ／＼の武器を持つて閣議に臨む、モ一こうなれば大臣の面目問題、そこに悲壯の決意が出て來る譯、首相は之を何

と裁斷するであらうかと、待つ程に今日の閣議では豫算問題を報告したゞけだ、とお互に腹藝で豫算問題を解決しようとしてゐる状態、併し日を経るに従つて問題は硬化する形勢、濃厚な山本内相でも、私もナ一二個師團問題で寺内と争つて内閣を潰したことがあるからナ一と政界の前途を暗示するらしい口振。

○
俺が後藤農相だつたら辭表を敲きつけて内閣を壊してやるがナ一と言ふもあれば、齋藤さんのことだから後藤さんが罷めれば後任農相を任命する、と言ふもある、兎も角内閣が瓦解すりや大藏省の査定豫算を返上することが出来る、後繼内閣は吾々の要求を鵜呑にする必定だ、と痛快がるもある。

○
唐澤土木局長、此豫算ではトテモ九年度は賄ひ兼ねる、と辭表を懷中に山本内相に陳情、夫れもそうぢや、と三次の復活要求に賛成のよう、併し君の辭表はポケットから顔を出させて置くだけが良い。と、復活を強調するやうな様

子、夫れが一夜の裡に變轉して農相を宥め役と早變り、遂に口説かれたのが後藤さん、マ一内政會議で決定して要るものなら追加豫算位で、と言つたか言はないかは知らないが、兎も角、陸軍から海軍へ一千萬圓の提出で梟が附いた、此幹旋役は山本内相、男をあげたのは荒木陸相。併し幹旋役の内相とすりや俺の方にも復活を要求するものがあるとは言へない、泣き寝入りになつたのが内務省豫算。

土木局長の唐澤さん、大角海相が出せば俺も出すのぢやつた、後藤さんが出せば出すのぢやつたと、辭表の預けどころに苦しむでゐるナ一ニ後藤の立場は俺より大きいと言ふのか人間の意氣には大小がない筈と今は濟ましてゐる。

○

濟まされないのは農村、今年の時局匡救事業費よりは五割六分の減額、國事業は千七十四萬圓、此内道路はたつた七百六十六萬圓、治水は二百六十八萬圓、港灣は四十萬圓、府縣事業は千九百八萬圓、内道路は五百六十四萬圓治

水は千五十六萬圓、港灣は二百八十八萬圓、町村事業は千二百九十萬圓、内道路は千五十萬圓、治水は百九十三萬圓、港灣四十七萬圓と言はれてゐる、最初の要求に比して其の意氣達は奈邊にある。此豫算に依つて執行さるゝ土木事業、全國を通して六千八百二十九萬圓、其の内にある勞力費を見積ると三千七百七萬圓、就勞人員延五千三百萬人と傳へられてゐる、本年の夫れに比して約六千萬人の減少。繭價の低落乃至は米價低下に依つての損失を何に求めて農民は生活するであらうか。

不景氣知らずに氣勢の良い決議をした土木會議、此會議も政府の補助機關ぢやと聞かされてゐるが、同じ政府の機關、大藏省では卿等の意見は少しも考慮されない、言はゞ連絡のない單獨諮問機關見たいなものだ、何を決議しても財政に關する限りは唯だ言ふだけのこと、もつと端的に言へば、兩政黨選出の議員が思ふだけのことを言ふだけのことだ、其の決議の實行に就て責任を持つてゐない。噫、弱き者よ、汝は農民である。